

調理科 2年 高大連携福祉特別授業に参加

平成29年3月4日(土)調理科2年86名は宇都宮短期大学(長坂キャンパス)で行われた「高大連携福祉特別授業」を受講しました。今回の特別授業は、宇都宮短期大学人間福祉学科の百田先生の障がい者用調理器具を用いての福祉調理実習と宇都宮共和大学子ども生活学部の月橋先生の福祉のためのレクリエーション実習(コミュニケーション・ワーク)でした。

《 福祉調理実習 》

咀嚼のうまくできない方にも、食材を小さく刻んだり柔らかく調理することによって、おいしく召し上がっていただけることを学び、食を通じての生活の楽しみを提供できる福祉に、より興味を持つようになりました。



福祉大国スウェーデン製の福祉調理器具の説明をしていただきました。まな板も包丁もお鍋も、初めて見る珍しい機能のものばかりでした。



手の不自由な方を想定して、利き手でない方を三角巾で吊り片手で調理を行いました。



普段は得意なジャガイモの皮むきも、片手では難しかったです。



実習後はメニューの『ドライカレー風スパゲティ、マセドアンサラダ、コンソメスープ』を美味しくいただきました。

《 福祉のためのコミュニケーション実習 》

レクリエーション内容は「ディスク・キャッチ」「サークル・ジャンプ」「キャッチング・ザ・スティック」「ロープ・ジャンピング10」の4種目で、いずれも、グループメンバー同士で号令や声を掛け合ったり励まし合わなくてはできないものでした。

この授業を通して、困っている人や助けが必要と思われる人に積極的に声をかけることの大切さや、人と人との繋がり大切さを感じ取りことができました。



『 ディスク・キャッチ 』



『 サークル・ジャンプ 』



『 キャッチング・ザ・スティック 』



『 ロープ・ジャンピング 10 』